

- 問1 平安時代中期には、紫式部が『源氏物語』を、清少納言が『枕草子』を記すなど、女性による優れた文学作品が数多く誕生しました。このような文学が発展した背景にある、文字の歴史的な変化を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 漢字の音をそのまま借りて日本語を表記する「万葉仮名」が考案され、公式の場でも女性が自由に漢字を操れるようになったため。

2. 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりした「かな文字」が普及し、心情や情景を日本語で自由に表現できるようになったため。

3. 仏教の経典を読みやすくするために、漢字の横にカタカナに似た記号を添える記述法が、物語の執筆に転用されたため。

4. 遣唐使によって最新の中国の文字が導入され、それが宮廷の女性たちの間で共通言語として広まったため。
- 問2 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 東大寺大仏殿

2. 鹿苑寺金閣

3. 平等院鳳凰堂

4. 法隆寺五重塔
- 問3 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。

2. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。

3. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。

4. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。
- 問4 平安時代初期、最澄が唐から伝えた教えをもとに、比叡山延暦寺を拠点として日本に広めた仏教の宗派を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 禅宗

2. 浄土宗

3. 真言宗

4. 天台宗
- 問5 平安時代中期、かな文字が普及したことで独自の文学が発展しました。その中で、清少納言によって執筆された、四季の情景などを鋭い感性で記した日本を代表する随筆は何ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 竹取物語

2. 枕草子

3. 源氏物語

4. 土佐日記
- 問6 1086年に子の堀河天皇に位を譲った後、上皇として初めて本格的な院政を開始した人物は誰ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇

2. 白河天皇

3. 桓武天皇

4. 聖武天皇
- 問7 平安時代後期に、現在の岩手県にあたる地域を拠点とし、独自の仏教文化を築き上げた豪族を何と呼びますか。また、その拠点となった地名との組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 足利氏 — 平泉

2. 源氏 — 多賀城

3. 奥州藤原氏 — 多賀城

4. 奥州藤原氏 — 平泉
- 問8 10世紀の平安時代において、それまでの唐の文化の影響を強く受けた段階から、日本の風土や生活、日本人の感性に合わせた独自の特色を持つ文化が発展しました。この文化を何と呼びますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 安土桃山文化

2. 鎌倉文化

3. 国風文化

4. 天平文化
- 問9 平安時代初期に最澄によって開かれた仏教について、その後の歴史に与えた影響や特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
1. 最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山は、後に鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出する修行の場となった。

2. 最澄が開いた天台宗は、貴族の間に深く浸透し、後に法然や親鸞が浄土真宗を開く際の直接的な教義となった。

3. 最澄は、遣唐使として空海と同じ船で唐に渡り、帰国後は空海とともに真言宗を広めることに努めた。

4. 最澄は、都から離れた山奥で修行するのではなく、東大寺などの南都六宗の勢力と協力して政治を支えた。
- 問10 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍

2. 小野妹子 — 遣隋使

3. 中大兄皇子 — 太政大臣

4. 足利尊氏 — 征夷大將軍
- 問11 平安時代の中期以降、地方の有力者が自ら開発した土地を中央の有力貴族や大寺社に寄進し、名目上の領主になってもらう動きが広がりました。この仕組みにおいて、寄進を行った地方の有力者の主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 天皇から直接、新しい農具や肥料の提供を受けること

2. 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること

3. 土地をすべて国有化し、朝廷の役人として給料をもらうこと

4. 班田収授法に基づいて、土地を周辺の農民へ平等に再分配すること
- 問12 平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来るとする不安から、阿弥陀如来を信仰して死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方が広まりました。藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂の背景にもある、この信仰を何というか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
1. 禅宗

2. 密教

3. 浄土信仰

4. 法華信仰
- 問13 平安時代中期に藤原氏が確立した「摂関政治」において、彼らが政治の実権を握り続けるために用いた最も主要な手段として適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子が天智天皇として即位したように、律令に基づいた天皇中心の中興集権的な政治改革を主導した。

2. 自身の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治を補佐した。

3. 地方の有力な武士団を直接組織し、武力によって反対勢力の貴族を排除することで、摂政や関白の地位を世襲した。

4. 天皇の地位を退いた後に「上皇」となり、院庁と呼ばれる役所を通じて、現役の天皇に代わって実権を振るった。
- 問14 平安時代初期、最澄は唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して新しい宗派を広めました。この宗派の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 臨済宗

2. 浄土宗

3. 天台宗

4. 真言宗